

177年

熹平六年（漢）

皇帝

劉宏（漢靈帝）

皇后

宋氏（諱某）

皇太子

（空位）

三公

太尉：劉寬（前光祿勳・176~177） 孟[有或](前太常・177~178)

司徒：楊賜（空席）

司空：劉逸(前太常・176~177) 陳球(前衛尉・177) 陳耽(前太常・177~178)

その他の要職

太常： 孟[有或] 陳耽

光祿勳：

衛尉： 陳球

太僕：

廷尉：

大鴻臚：

宗正：

大司農：

少府：

大將軍：

驃騎將軍：

車騎將軍：

衛將軍：

主な事件

- ▶ 春正月辛丑 天下に大赦す《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 二月 南宮の平城門（洛陽城の南の門）と武庫（禁兵詰所）の東の垣根（庫の外障）が自ずから崩れた《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 夏四月 大いに旱魃あり。七州で蝗の害《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 鮮卑が三辺（いわば東と西と北）を侵す《後漢書孝靈帝紀》

市場の民を宣陵の孝子数十人と為し、太子舎人に除す《後漢書孝靈帝紀》

- ▶
- ▶ 秋七月 司空劉逸が免ぜられ、衛尉陳球を司空と為す《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 八月 破鮮卑中郎將の田晏を雲中郡に出撃させ、匈奴中郎將の臧旻を南单于とともに雁門郡に使わし、護烏桓校尉の夏育を高柳に出撃させ、並んで鮮卑を討とうとしたが田晏らは大敗した。《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 冬十月癸丑朔 日食があった《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 十月太尉劉寬免じられる《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 十月、靈帝は雍に臨時で避けた《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 十月辛丑、京師で地震があった《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 十月辛亥、天下に令して囚人で罪が未決の者に絹を入れて購わせた《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 十一月、司空の陳球を免じた《後漢書孝靈帝紀》地震を以て免じられ、光祿大夫を拜す。また廷尉、太常を歴任する《後漢書張王?陳列伝》
- ▶ 十二月甲寅、太常の河南郡の孟[有或]を太尉と為す。
- ▶ 十二月庚辰、司徒の楊賜を免じる。太常の陳耽を司空と為す《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 鮮卑が遼西を侵す《後漢書孝靈帝紀》
- ▶ 永安宮の太僕である王昱は獄に下されて死亡した《後漢書孝靈帝紀》

[PAGE TOP](#)

[176年 <<](#) [>> 178年](#)